

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. 646 August 2012

Special Issue: Poverty and Labor in Childhood: History, Theory, and Policy Implications (1)

- About Issue HARA Nobuko
The International Policy and Global Movement against Child Labour
..... HORIUCHI Mitsuko
Child Labor in Modern Japan ENOKI Kazue
Children of War : An Oral History of Indish-Japanese EZAWA Aya

Article

- Joint Struggle of the Social Democratic Party of Japan and the
Japanese Communist Party in the Late 1940s YOKOZEKI Itaru

Review

- Erin Hatton, *The Temp Economy* SEKIGUCHI Teiichi

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

- Ohara Institute for Social Research

Monthly Research Meeting

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342 Aihara, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr.org>

e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼) 発行人
法政大学大原社会問題研究所
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042 (783) 2305~7

定価1,000円(本体952円)
年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

六四六号 【特集】子どもの貧困と労働(1)

二〇一二年八月

1958年2月10日第三種郵便物認可 2012年8月25日(毎月1回25日)発行

ISSN 0912-9421

大原社会問題研究所雑誌

646 2012.8

【特集】子どもの貧困と労働(1)

- 特集にあたって 原 伸子 1
児童労働撤廃に向けての国際政策と国際運動 堀内光子 3
近代日本の児童労働 榎 一江 16
子どもと戦争
——日系オランダ人の口述史 江沢あや/川崎暁子 32

■論文

- 1940年代後半における社会党と共産党の共闘 横関 至 53

■読書ノート

- 『テンプ・エコノミー』(エリン・ハットン著) 関口定一 69

- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所 85

月例研究会

所報 2012年4月

発行/法政大学大原社会問題研究所

発売所/法政大学出版社 3330-55001-7710

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-7

法政大学一口坂別館内 TEL 03 (5214) 5540

郵便振替口座 00160-6-95814

特集

1 東日本大震災と労働組合 2 原子力問題と労働運動・政党
—その歴史的展開

2012年版 第82集 【最新版】 日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

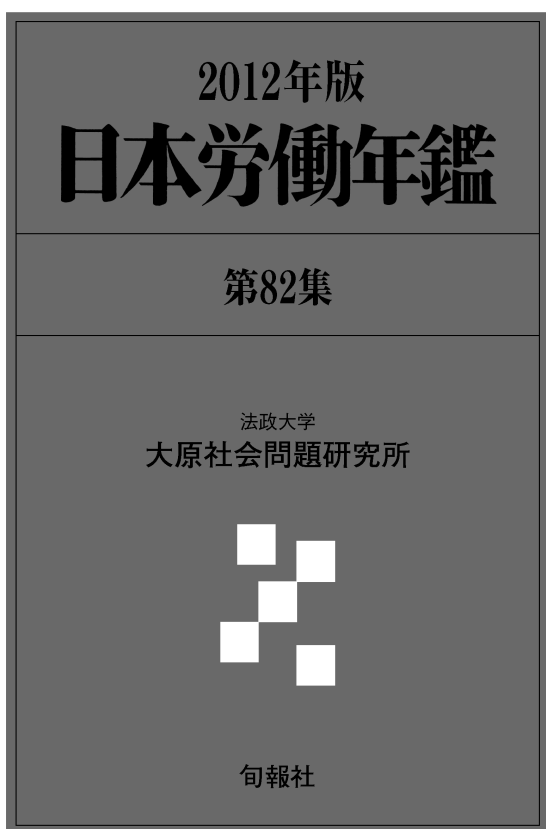
A5判・上製・484頁／定価15,750円
(本体15,000円)

わが国唯一の労働年鑑!

1920年以来、日本の労働運動・
労働者の状態・労働政策と
時代の節目を克明に記録—。
信頼と伝統を誇るデータ・ベース!

第82集・主な目次

- 特集1 = 東日本大震災と労働組合
- 特集2 = 原子力問題と労働運動・政党
—その歴史的展開
- 序章 政治・経済の動向と
労働問題の焦点
- 第一部 労働経済と労働者生活
- 第二部 経営労務と労使関係
- 第三部 労働組合の組織と運動
- 第四部 労働組合と政治・社会運動
- 第五部 労働・社会政策
- 付録 労働組合の現状／労働組合名簿／
統計・図表索引／事項索引／年表



ISBN978-4-8451-1268-5

旬報社 〒112-0015 東京都文京区目白台2-14-13
電話(03)3943-9911 FAX(03)3943-8396 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No. 625 2012年8月号

定価 895円 年間購読 10,740円

特集 日本人の休暇

提言	休暇を取ることは義務である	和田 肇
論文	余暇と労働時間の長期的推移に関する経済理論と実際 「休暇」概念の法的意義と休暇政策—「休暇として」休むということ 日本人の余暇時間—長期的な視点から フランスのパカンスと年次有給休暇 年休を取り残す理由が年休取得率に与える影響	三谷直紀 野田 進 黒田祥子 鈴木宏昌 小倉一哉
研究ノート (投稿)	高度経済成長期における日本生産性本部の活動—相互信頼的労使関係の形成への影響	島西智輝 森 直子 梅崎 修
書評	高橋賢司著『解雇の研究—規制緩和と解雇法理の批判的考察』 神吉知郁子著『最低賃金と最低生活保障の法規制—日英仏の比較法的研究』 米澤旦著『労働統合型社会的企業の可能性—障害者就労における社会的包摂へのアプローチ』	藤原稔弘 駒村康平 櫻井純理
論文 Today	「労働者のプライバシーと企業」	細川 良
フィールド・アイ	労使交渉とテールゲート・パーティー	阿部正浩

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23
☎ 03-5903-6255

Digest of Science of Labour

労働の 科学 9

2012. Sep.
第67巻第9号

定価1,100円・年間予約12,000円
送料84円

【特集】安全な道路輸送への道のり

◆巻頭言<俯瞰>求められる事業用自動車安全対策の
確実な推進 野尻俊明 ◆安全な輸送のための問題の
ありかと改善方向—労働科学研究の課題を視野にい
れて 川村雅則 ◆過労運転における睡眠の問題 高
橋正也 ◆規制緩和の是正と新たなルールの構築 鎌
田佳伸 ◆より安全な車両の開発 杉浦秀明 ◆健康
管理と睡眠品質の向上による交通事故リスク軽減の取
り組み 仙波 修 ◆職業ドライバーという働き方—
—運転席からの運転労働論 長野潤一

- ◆職業ドライバーの安全と健康・5 血圧管理と運転
中の意識消失……………作本貞子
- ◆健康影響予測評価 (HIA) と企業における活用・9
【活用事例】工場閉鎖に伴う生産移管に対するHIA
……………加藤梨佳・他
- ◆産業安全保健エキスパート見る・活動・20 三菱
電機株式会社……………吉田浩二
- ◆産業安全保健エキスパート職場の実践・10 京セ
ラ株式会社滋賀蒲生工場 従業員がいつでも使える
AED講習……………江口 尚
- ◆研究室とつないで・19 千葉工業大学工学部デザ
イン科学科……………三澤哲夫
- ◆Talk to talk 意識せずとも……………肝付邦憲



(財)労働科学研究所出版部 (労研出版)

〒216-8501 神奈川県川崎市宮前区菅生2-8-14 電話 044 (977) 2121 (代) 振替 00100-8-131861

